

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 鈴木 豊
幹事 小川 耕示
会報委員長 丹羽 克誌

2013 ~ 2014年度 国際ロータリー ロンD.バートン 会長テーマ

Engage Rotary Change Lives ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2846回例会プログラム

[当年度=38回目；当月=2週目]

2014年（平成26年）6月9日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 職業表彰（職業奉仕委員会）
……青木 一男 様、山田万季子 様
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(6/16) ……
クラブ協議会
次年度委員会別事業計画の検討
(6/23) ……
クラブ協議会
現理事挨拶
- 13:00 14. 本日のプログラム
卓話 「千石船漂流記」
講師 日本漂着物学会
中小企業技術経営研究会会長
水野 克宣 様
(紹介者 天野 櫻子 会員)
15. 謝辞
16. 点鐘……〈会長〉
17. 閉会宣言
13:30 18. 散会

ゲ ス ト

職業表彰者 青木 一男 様
山田万季子 様
新入会員予定者 鈴木 一正 様

出 席

会員総数 95名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
欠席 9名 出席率 89.53%
前々回（5/26）の修正出席率 100%

会長あいさつ

創立50周年記念式典・記念事業

鈴木 豊



平成16（2004）年3月30日

創立50周年記念式典

50代会長 加藤 恒治

記念事業として

- 寄付（アフガン学校建設1万ドル募金への寄付・社会福祉関係への寄付・ロータリー財団への寄付・米山記念奨学会への寄付・ポリオ撲滅募金への寄付）
- RID フィリピン・ドリアンシティ（ダバオ）RC ニームツリープロジェクトへの資金援助（WCS）
- 公開講演会の開催
- 50周年記念式典の挙行
- 50周年記念誌の発行

当日の新聞見出し

東北、明德義塾が8強 ダルビッシュは2発被弾
第76回選抜高校野球大会第8日目は30日、甲子園球場で2回戦を行い、第1試合は東北（宮城）が3-2で大坂桐蔭（大阪）に競り勝ち、19年ぶりの準々決勝進出を決めた。既に8強入りしている秋田商（秋田）と合わせ、東北勢が2校ベスト8に進んだのは24年ぶり。

東北は2-2の8回、大沼の2塁打で勝ち越した。

「千石船漂流記」

日本漂着物学会

中小企業技術経営研究会会長

水野 克宣 様



今から200年前、太平洋を484日間も漂流した末に生き延び、再び日本の土を踏んだ船頭がいた。佐久島で生まれ育った小栗重吉(1785～1853年)だ。

重吉が遭難したのは数え29歳のとき。千石船「督乗丸」の船頭だった。味噌や醤油などを江戸に運んだ後、大豆700俵を積んで帰る途中、遠州灘で暴風雨に遭う。

帆は切れ、舵はきかなくなり、14人の乗組員は漂流。積み荷の大豆などで食いつなぎ、1年4カ月後にアメリカ西海岸のサンタバーバラ沖で、イギリス船に発見されて救われる。

ただ、日本は鎖国時代。すぐには帰れず米国やロシアを転々とする。故郷に戻れたのは漂流から4年後のことだ。重吉ともう1人だけだった。ジョン万次郎よりおよそ30年前のことだ。

重吉は帰国後、外国から持ち帰った珍しい品々を各地で展覽したり体験を語ったりしてお金をため、仲間のために千石船をかたどった供養碑を建立した。

重吉に関心を持つ仲間とともに私が中心となって「海の男 船頭重吉の会」を発足させたのは2012年4月。会のメンバーが原画を描いて重吉の生涯を紙芝居にし、地元の小学校や保育園などで実演している。子供たちには、重吉にならって諦めない気持ちの大切さを学んでほしいと思う。

1813年の漂流からちょうど200年の昨年には、船頭重吉の会が主催して「漂流200年記念祭」を開いた。

作久島の港に立つと、夏には照りつける太陽の下、重吉が友達と元気に泳いでいる姿が目に見え、島には古い神社や寺がたくさんある。こうした環境が長い漂流にも耐える丈夫な体を作ったり、あつい信仰心を育み仲間の供養碑を建てることにつながったりしたことを知ってもらいたかったからだ。

今後の夢は重吉の生涯を描いたミュージカルをつくること、そして、重吉の銅像を作久島に建てること。

484日間の漂流は世界最長記録ともいわれ、ギネスブックに認定を申請。審査の結果を待っているところだ。ゆくゆくは郷土が生んだ偉人の存在を世界の人々にも知ってもらいたい。



1回戦でノーヒットノーランを達成したダルビッシュは中村に2本塁打を浴びたが、2番手の真壁が好救援した。

初戦の熊本工戦でノーヒットノーランを演じた東北のダルビッシュが、「記憶にない」という1試合2本塁打を浴びて6回以降降板。2本とも大阪桐蔭の3番中村に、自慢の速球を痛打された。大阪出身のダルビッシュは「中学の時に(中村とは)何度か対戦しました。打たれた記憶がなかったので、高校で成長したなと思いました」と相手をたたえた。

[ひと言]

3年前にアメリカの大リーグ野球に行った、前日本ハムファイターズ、ダルビッシュ有投手の選抜高校野球大会のときの新聞記事です。

会員の中には高校時代、野球部に所属して毎日、暗くなるまでボールを追いかけた方もいらっしゃるかも知れません。私たちの小学・中学・高校時代は体育の時間がソフトボールになると、嬉々としていました。そして、春・夏に甲子園で開催される高校野球大会は、テレビにかじりつきしました。青森・三沢高校の太田投手、作新学院の江川投手、四国・池田高校のやまびこ打線、横浜高校の荒木投手等、今思い出しても胸が躍ります。去年も、また1人甲子園を沸かせた田中投手がアメリカへ渡ってしまいました。以前の高校球児が大リーグで活躍するのをテレビで見るのは、嬉しいですね。去年の選抜は京都・竜谷大平安が優勝しました。夏の大会が待たれます。

職業表彰



青木 一男 様、山田万季子 様

銀婚式のお祝い



神野 公秀 会員